

4

豊かさ

——経済への配慮

社員が十分な教育を受け、多様性に富み、経済的にも安定してこそ、企業はより良い結果を生み出すことができる。第4の柱に豊かさを加えるということは、E・S・Gにとどまらず、豊かな社会の重要性を強調し、経済成長やイノベーション、富の共有を促す企業の役割に焦点を当てるということを意味する。

世界経済フォーラム白書「ステークホルダー資本主義を測定する」より

132



133 当グループの「豊かさ」(経済への配慮)に対する考え方

134 雇用と富の創出

136 お客さまへの価値の提供

148 環境・社会課題の解決に向けた取り組み

201 トラスト未来フォーラム

202 住友財団

203 三井文庫

当グループの「豊かさ」(経済への配慮)に対する考え方

本レポートが参考にする世界経済フォーラム白書「ステークホルダー資本主義を測定する－持続可能な価値創造のための共通指標と一貫した報告を目指して」では、「豊かさ」の定義について、国連事務総長の報告から以下のとおり引用しています。

「豊かさ」の定義

- 適切な雇用、持続可能な生活、実質所得の増加、社会的保護、全ての人々の金融サービスへのアクセスを基盤とした経済成長
- 持続可能かつレジリエントなインフラ、定住、工業化、中小企業、エネルギー、テクノロジーへの投資を含む、共通価値を創出するためのイノベーションとビジネスモデルの変革
- 持続可能な生産と消費を基盤とした豊かさの共有と公平な成長

すなわち「豊かさ」とは、企業がいくら豊かになったかではなく、企業が社会をいかに豊かにしたかということにほかなりません。従って、ビジネスを通じた社会や経済への貢献はもちろんのこと、雇用や納税、コミュニティ投資や社会活動への参画、金融包摂といった取り組みがここに含まれます。具体的には、こうした考え方に基づき本パートにおいては、以下の三つの切り口で当グループの取り組みを報告しています。

雇用と富の創出	雇用の創出と経済の生産能力への投資を通じ、社員、株主、そしてより広い社会にとって大きな経済価値を創出します
お客さまへの価値の提供	変化するお客さまのニーズや要望に応える最適で革新的な商品・サービスのご提供により、お客さまや社会にとっての経済的・社会的価値をより広く創造します
地域と社会の活力向上支援	コミュニティ投資やその促進および社会活動への参画や、納税による政府のコミュニティへの資金提供支援(間接支援)により、当グループが業務を行う社会と地域の活力向上を図ります。また公平で包摂的な経済発展を通じたコミュニティの購買力向上に貢献します

関連するマテリアリティ

インパクトマテリアリティ

マテリアリティ	リスク/機会	主たるステークホルダー	主な対応
人生100年時代	リスク/機会	社会、お客さま、社員	超高齢社会における社会システム変化、健康寿命延伸などの社会課題に備え、豊かな生活を支える商品・サービスの提供。お客さまが金融商品・サービスにアクセス可能となる状態の整備。
ESG/サステナブル経営	リスク/機会	社会、お客さま、社員	気候変動、生物多様性、資源循環・サーキュラーエコノミー、大気・水質・土壌汚染への対応、投融資先企業におけるESG経営のサポート。
地域エコシステム・グローバルインベストメントチェーン	リスク/機会	社会、お客さま	地域の各主体の相互補完関係と地域外の経済主体等とも関係して多面的に連携、共創していく関係の構築。先進的な海外プレイヤーとの協業等を通じたインベストメントチェーンの強化、投資機会の提供。
信託×DX	リスク/機会	社会、お客さま、社員	IT戦略と経営戦略の連携、信託の力、DXの力による資金・資産・資本の好循環の実現。

財務マテリアリティ

マテリアリティ	リスク/機会	主たるステークホルダー	主な対応
ステークホルダーの期待する財務体質	リスク	社会、株主	健全な財務、持続的な成長、安定的な収益獲得。

関連性の高いSDGs

